

## 第2章 統計データでみる福島県経済

### 1 個人消費

#### (1) 大型小売店販売額

平成17年の大型小売店販売額は、消費者マインドの低迷や先行きに対する不安などから、総額2,265億2,500万円(全店舗ベース)、対前年比(既存店ベース)は3.7%となった(図1-1、図1-2)。

既存店ベースの1年間の推移をみると、一部店舗の閉店セールや冬季気温が平年を下回ったことから冬物衣料品の売上げが好調で、1月と12月は前年を上回ったものの、年間を通しては低調となり、8年連続で前年を下回った(図2-1、図2-2)。

なお、平成17年の調査対象店舗数は、百貨店は1店舗減少し5店舗、スーパーは3店舗増加し70店舗、全体では75店舗となり3年連続で増加した。

業態別では、百貨店は総額466億5,000万円(全店舗ベース)、対前年比(既存店ベース)0.2%となった。

既存店ベースで百貨店の1年間の推移をみると、1月と2月は一部店舗の閉店セールにより対前年同月比で増加、5月はクールビズ効果により増加、11月と12月は冬物衣料品の売上げが好調であったことから増加となり、一部に明るい動きがみられたが、年間を通しては僅かながらマイナスとなり、6年連続で前年を下回った(図3-1、図3-2)。

スーパーは、総額1,798億7,500万円(全店舗ベース)、対前年比(既存店ベース)4.6%となった。

既存店ベースでスーパーの1年間の推移をみると、年末の冬物衣料品の売上げが好調であったが、飲食料品の売れ行きが年間を通してマイナスとなり、9年連続で前年を下回った(図4-1、図4-2)。

#### 【大型小売店販売額】

調査対象となる百貨店5店とスーパー70店(平成17年12月末現在)の総販売金額です。既存店ベースの前年同月比とは、前年同月も調査の対象であった店舗のみを比較するものです。過去1年間に開・廃業した店舗の販売額は除かれているので、前年と同一条件で消費動向をみることができます。

【 大型小売店年次販売額(全店舗ベース)及び前年同月比(既存店ベース)の推移 】

図1-1 大型小売店販売額(全店舗ベース)

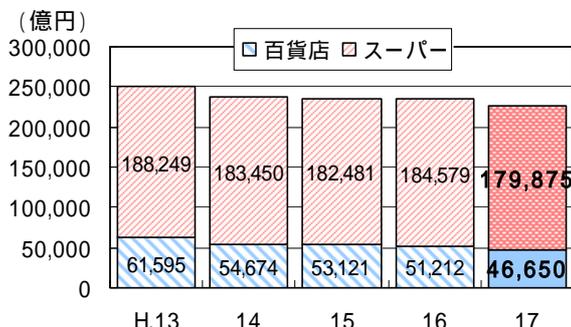
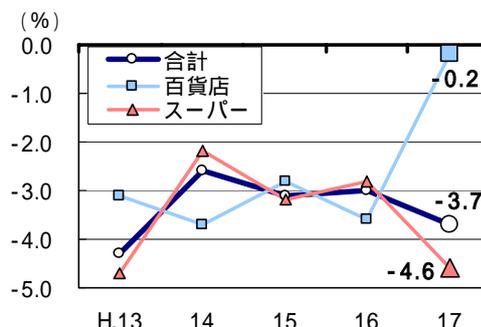


図1-2 対前年同月比(既存店ベース)



備考 1 (資料: 経済産業省「商業販売額統計年報」より作成)

【 大型小売店月次販売額(全店舗ベース)及び前年同月比(既存店ベース)の推移 】

図2-1 大型小売店月次販売額(全店舗ベース)(百貨店+スーパー)

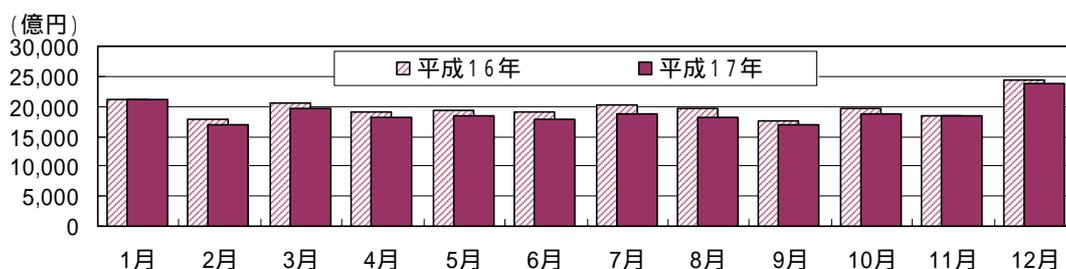
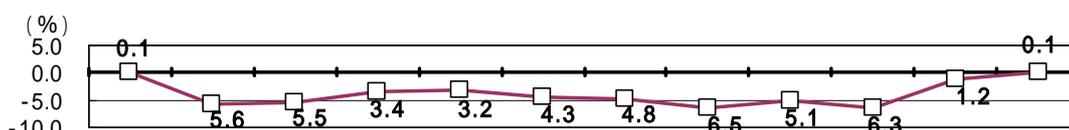


図2-2 対前年同月比(既存店ベース)(百貨店+スーパー)



備考 1 (資料: 経済産業省「商業販売額統計年報」より作成)

図3-1 百貨店月次販売額(全店舗ベース)

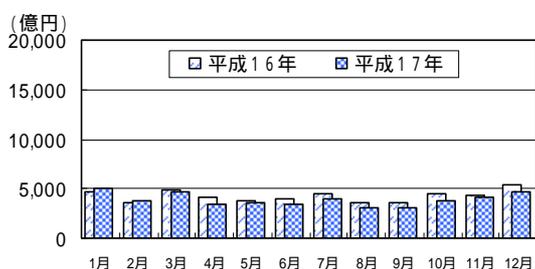


図4-1 スーパー月次販売額(全店舗ベース)

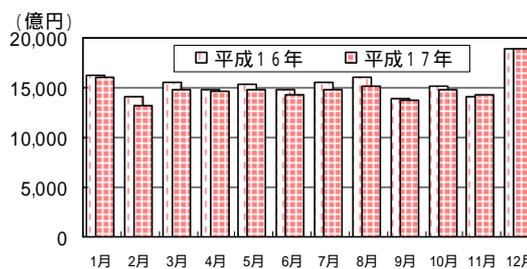


図3-2 対前年同月比(既存店ベース)(百貨店)

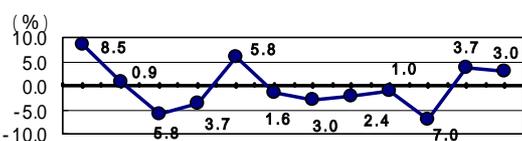
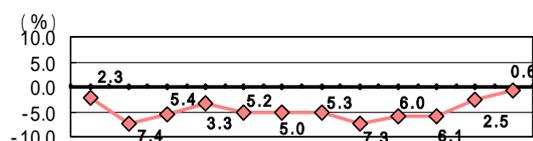


図4-2 対前年同月比(既存店ベース)(スーパー)



備考 1 (資料: 経済産業省「商業販売額統計年報」より作成)

指標は、P.60 ~ P.62に掲載

## (2) 乗用車新規登録台数

平成17年の乗用車新規登録台数は76,100台、対前年比 0.1%となった。

この要因を車種別寄与度でみると、中型車(1500cc超2000cc以下)や軽自動車(660cc以下)は前年を上回りプラスに寄与したが、大型車(2000cc超)や小型車(660cc超1500cc以下)が前年を下回りマイナスに寄与したため、全車種の年間計では僅かではあるが5年連続で前年を下回る結果となった(図5-1、図5-2)。

全車種ベースで1年間の推移をみると、1月から3月は、昨年のモデルチェンジ効果が一巡したことによる反動で前年を下回った。4月から10月にかけては、中型車や軽自動車の好調な販売に支えられて前年を上回る動きがみられたが、11月に入ると、人気車種の投入効果が薄れ、前年を下回る動きとなった(図6-1、図6-2)。

車種別では、大型車の新規登録台数は10,102台で昨年のモデルチェンジの効果が一巡したことによる反動が大きく、年間を通して低調に推移したことから対前年比 15.6%となった。

中型車の新規登録台数は14,750台で4月以降好調な売れ行きで推移し、対前年比 7.2%となった。

小型車の新規登録台数は26,895台で昨年からの新車投入効果で前年を上回る動きが続いたが、7月以降になると伸び悩み対前年比 0.1%となった。

軽自動車の新規登録台数は24,353台、安価な販売価格と維持費から前年を上回り、対前年比3.5%となった。

### 【乗用車新規登録台数】

乗用車の購入により、運輸支局及び軽自動車検査協会に登録された台数です。耐久消費財の販売動向を消費側からとらえた統計です。自動車を購入した際には必ず登録をするため網羅性があり、速報性もあります。3月や9月の決算期には台数が多くなるなど、顕著な季節性があります。

【 乗用車年次新規登録台数の推移 】

図5 - 1 乗用車年次新規登録台数

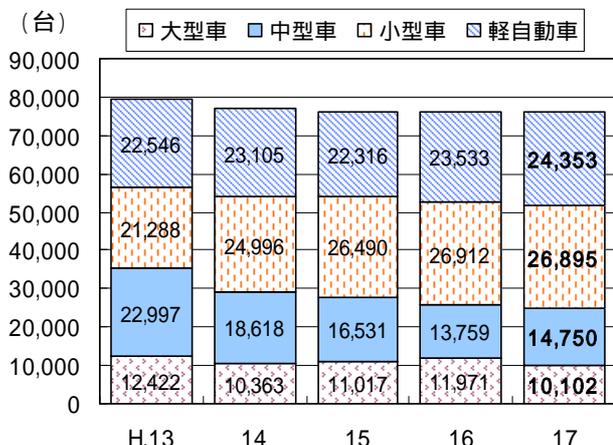
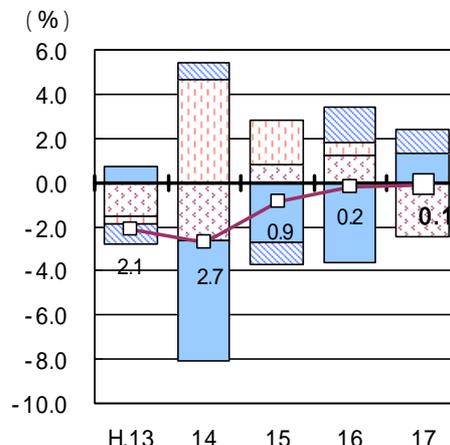


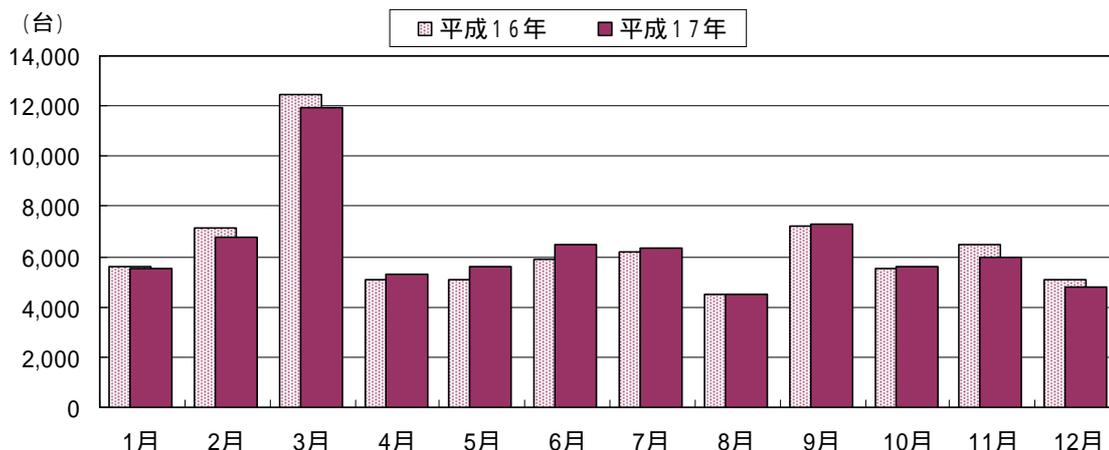
図5 - 2 対前年比、車種別寄与度



備考 1 (資料: 福島県自動車販売店協会、福島県軽自動車協会資料より作成)

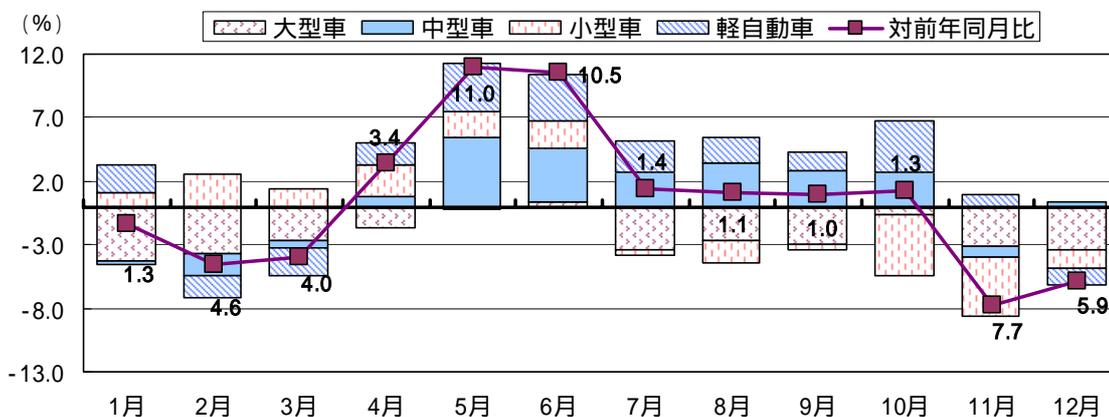
【 乗用車月次新規登録台数の推移 】

図6 - 1 乗用車月次新規登録台数



備考 1 (資料: 福島県自動車販売店協会、福島県軽自動車協会資料より作成)

図6 - 2 対前年同月比、車種別寄与度



備考 1 (資料: 福島県自動車販売店協会、福島県軽自動車協会資料より作成)

指標は、P.63に掲載